



0テレ

2022年度
第2四半期
決算説明資料

日本テレビホールディングス

2022年度第2四半期 決算説明資料

決算概況



上期のポイント

■増収減益

- ・ 日本テレビ放送網は、放送収入が減少も、デジタル広告・配信・映画・イベント海外番販等が好調に推移
- ・ ティップネスの赤字幅縮小、ACMの業績改善、ムラヤマの連結子会社化が増収に貢献
- ・ 一方、利益面は、主に放送事業収支の減少により減益

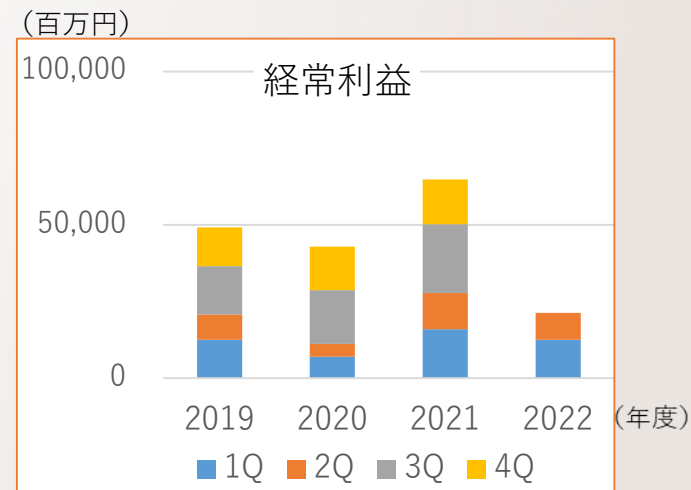
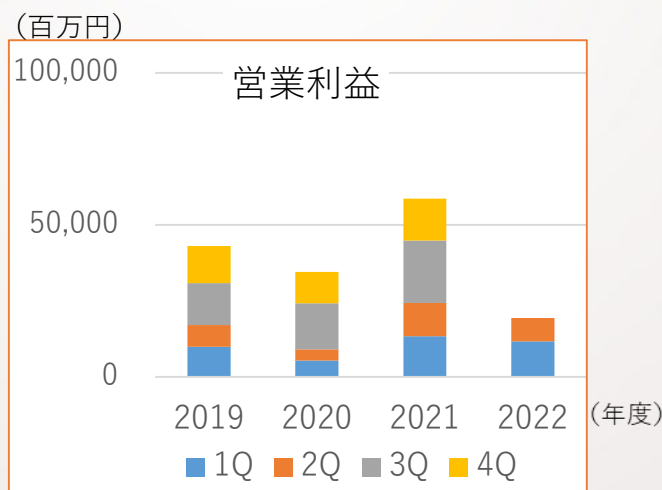
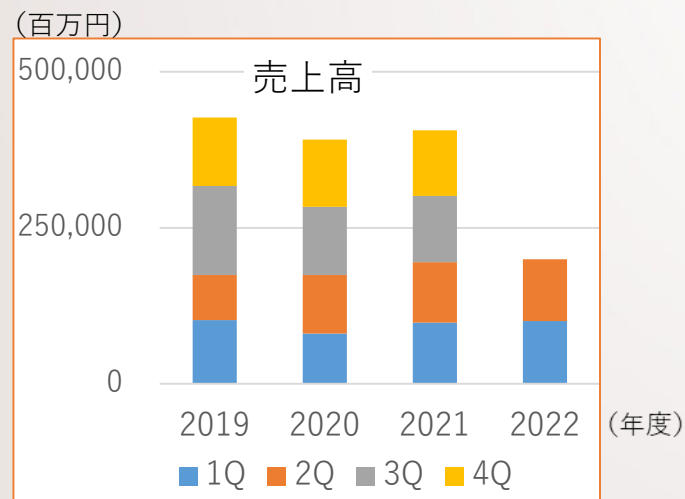
■通期業績予想

- ・ 売上高は200億円、営業利益・経常利益・当期純利益は、それぞれ70億円の下方修正
- ・ 配当予想は変更なく年間37円（中間10円・期末27円）

日本テレビホールディングス：連結決算概況

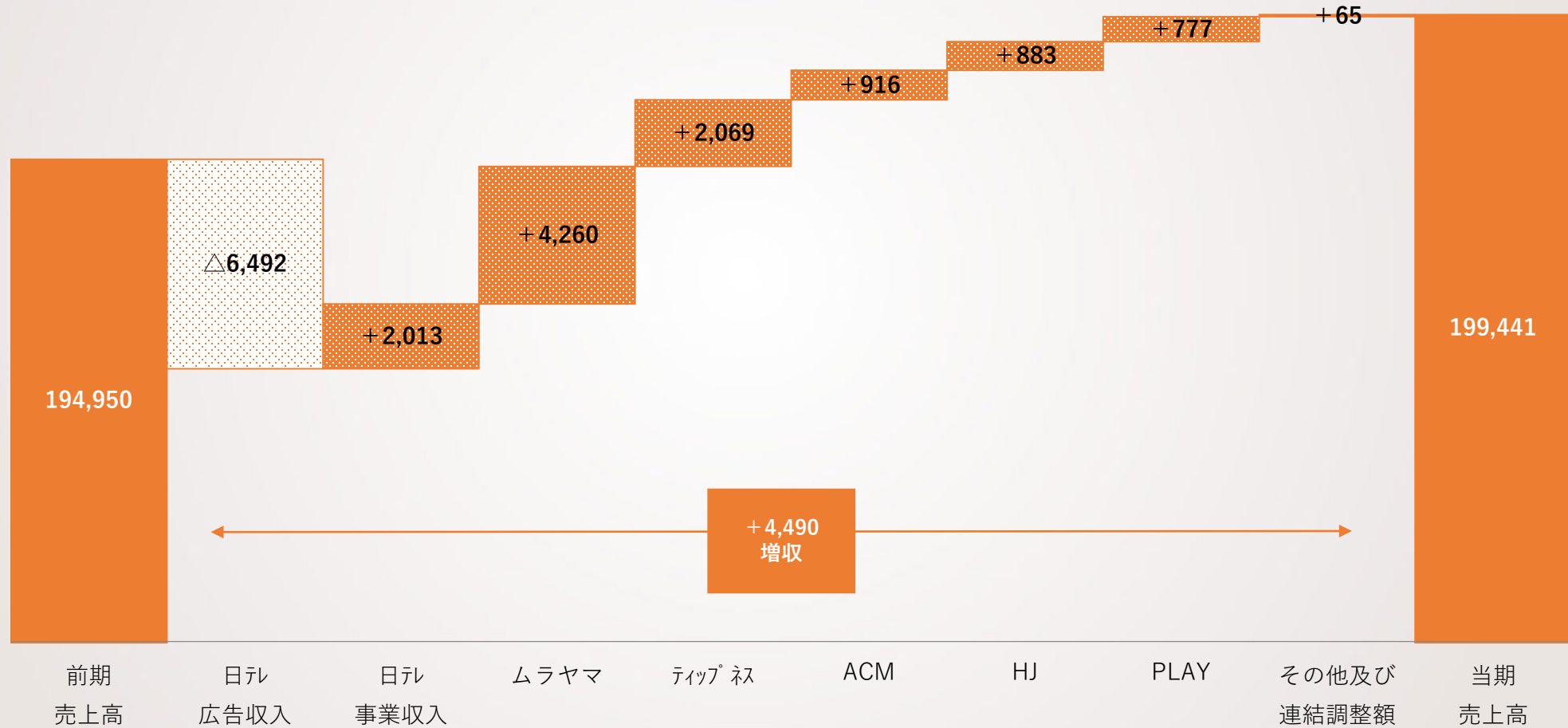
- 新たな連結対象となったムラヤマが売上に貢献
- 原材料高の広告市況への影響等により地上波テレビ広告は減収 (単位：百万円)

	2021年度上期 (4 - 9月)	2022年度上期 (4 - 9月)	前年差	増減率 (%)
売上高	194,950	199,441	4,490	2.3
営業利益	24,341	19,374	△4,967	△20.4
経常利益	27,797	21,334	△6,463	△23.3
親会社株主に 帰属する四半期純利益	18,440	14,262	△4,177	△22.7



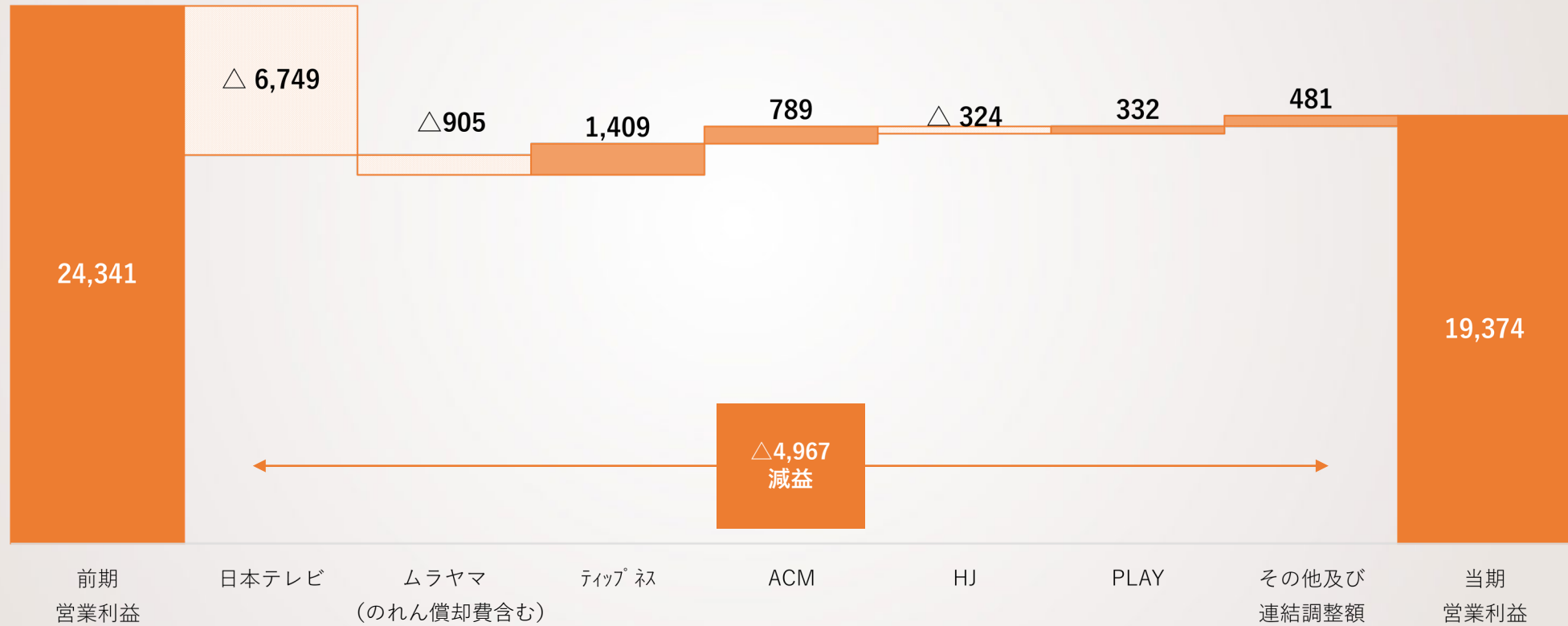
売上高の前年同期増減分析

(単位：百万円)



営業利益の前年同期増減分析

(単位：百万円)



日本テレビ放送網：決算概況

- 上期（4月-9月）は減収減益
- 地上波テレビ広告収入のマイナスが影響
- TVer等のデジタル広告収入は増加
- IPビジネス、映画、イベントの回復は利益にプラス貢献
- 営業費用は番組制作やイベント開催での反動増があった

（単位：百万円）

	2021年度上期 （4 - 9 月）	2022年度上期 （4 - 9 月）	前年差	増減率（%）
売上高	144,799	140,443	△4,355	△3.0
営業利益	21,481	14,732	△6,749	△31.4
経常利益	23,574	18,349	△5,224	△22.2
四半期純利益	16,984	12,525	△4,458	△26.3

主なグループ会社の状況 上期

■ 連結決算への影響が大きい、日本テレビ放送網以外のグループ会社

※単位：百万円（％は前年同期比）

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス	
売上高	8,252	2.4%	4,955	0.9%	4,074	18.6%	3,586	△5.3%	13,032	18.9%
営業利益	710	△20.1%	△102	－	964	24.9%	634	△22.0%	△251	－
経常利益	731	△20.1%	△98	－	990	25.4%	653	△28.4%	△394	－
四半期純利益	495	△21.7%	△67	－	649	25.2%	942	15.9%	△406	－
	ムラヤマ		タツノコプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	4,260	－	1,634	112.6%	16,938	5.1%	2,082	79.1%	4,104	28.2%
営業利益	△380	－	186	549.7%	360	△47.4%	350	－	1,014	48.7%
経常利益	△353	－	192	557.7%	328	△52.4%	369	－	995	45.9%
四半期純利益	△224	－	125	561.2%	326	△49.9%	359	－	601	43.0%

※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(－)表記しています。

日本テレビ放送網：営業収支詳細

(単位：百万円)

営業収入	2021年度上期 (4 - 9 月)	2022年度上期 (4 - 9 月)	前年差	増減率(%)
広告収入	118,647	112,153	△6,493	△5.5
番組販売収入	5,319	5,456	136	2.6
事業収入	19,647	21,662	2,014	10.3
不動産賃貸収入	1,184	1,171	△13	△1.1
合計	144,799	140,443	△4,355	△3.0

営業費用	2021年度上期 (4 - 9 月)	2022年度上期 (4 - 9 月)	前年差	増減率(%)
番組制作費	40,975	43,337	2,361	5.8
人件費	10,900	11,601	700	6.4
減価償却費	5,227	4,427	△800	△15.3
事業費	17,068	18,840	1,772	10.4
その他	49,145	47,505	△1,640	△3.3
合計	123,317	125,711	2,394	1.9

日本テレビ放送網：広告収入詳細

(単位：百万円)

	2021年度上期 (4 - 9月)	2022年度上期 (4 - 9月)	前年差	増減率(%)
広告収入	118,647	112,153	△6,493	△5.5
タイム	59,983	54,760	△5,223	△8.7
スポット	57,074	55,307	△1,767	△3.1
デジタル広告	1,589	2,086	497	31.3

広告収入 前年同月比

* 2022年度よりTVer等による「デジタル広告」欄を追加

タイム	2022年度 (%)
4月	△3.3
5月	△5.0
6月	△6.4
7月	△6.9
8月	△21.2
9月	△6.0

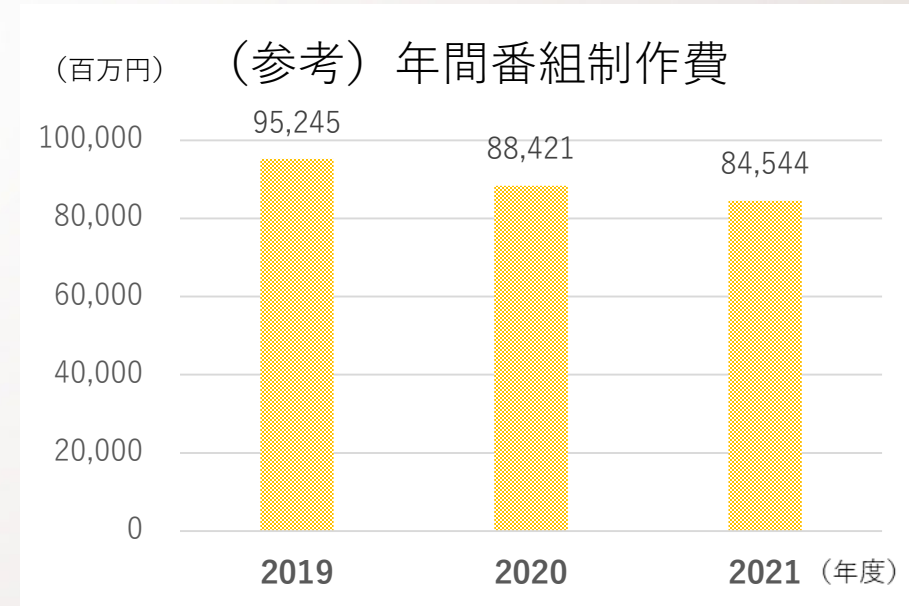
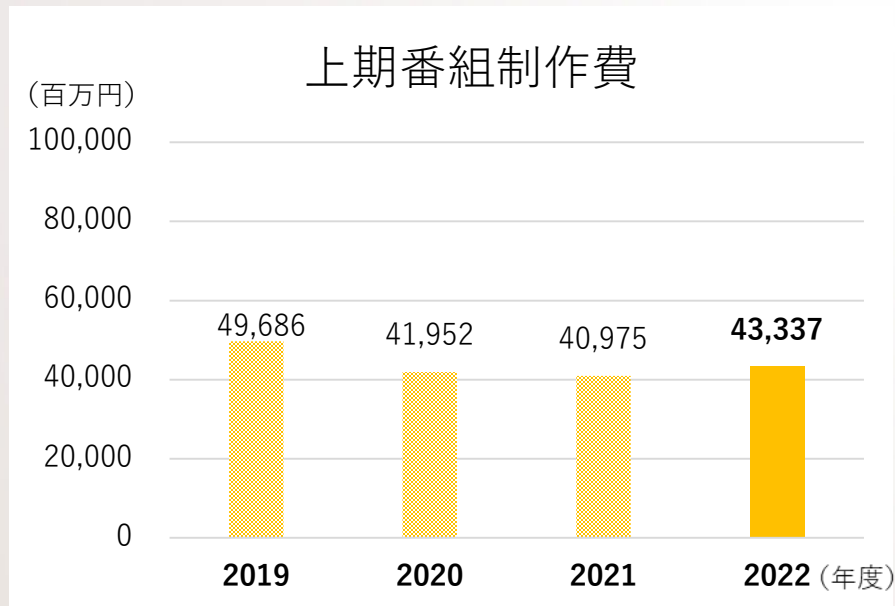
スポット	2022年度 (%)
4月	△2.9
5月	△3.5
6月	△17.6
7月	9.0
8月	12.5
9月	△10.2

デジタル 広告	2022年度 (%)
4月	49.8
5月	8.2
6月	15.1
7月	80.2
8月	39.5
9月	11.7

日本テレビ放送網：番組制作費

(単位：百万円)

2021年度上期 (4 - 9月)	2022年度上期 (4 - 9月)	前年差	増減率(%)
40,975	43,337	2,361	5.8



日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)

	収入		収支		特筆点
	2022年度上期 (4 - 9 月)	増減率 (%)	2022年度上期 (4 - 9 月)	増減率 (%)	
映画	2,074	2.2	1,113	15.1	今期公開：「キングダム2」「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」 「メタモルフォーゼの縁側」「極主夫道 ザ・シネマ」他
イベント	1,847	70.6	98	140.7	主な催事：「ミュージカル アニー」「スタジオジブリ展覧会2022」 「バンクシーって誰?展」「ボストン美術館展」他
通販	4,009	△13.2	229	△34.8	コロナの規制が緩和されたことに伴い売れ行きが鈍化
アニメ	1,902	△14.2	961	△5.1	今期新作：「トモダチゲーム」「シャインポスト」「惑星のさみだれ」
海外番販 (除アニメ)	1,003	35.0	383	△38.2	フォーマット販売が好調。「金田一少年の事件簿」の地上波、海外同時 展開が話題に。新規コンテンツ開発費計上により収支は前期比マイナス
IPビジネス	1,425	120.7	288	122.3	イベントが集客制限なく開催できたものが増加。 BE:FIRST TVのHuluオリジナル配信、MUSIC BLOODなどが増収に寄与
コンテンツビジネス	672	8.8	353	11.2	地上波放送番組の二次利用（ビデオパッケージ、出版、商品化、 フッテージ、BS・CS番組等）

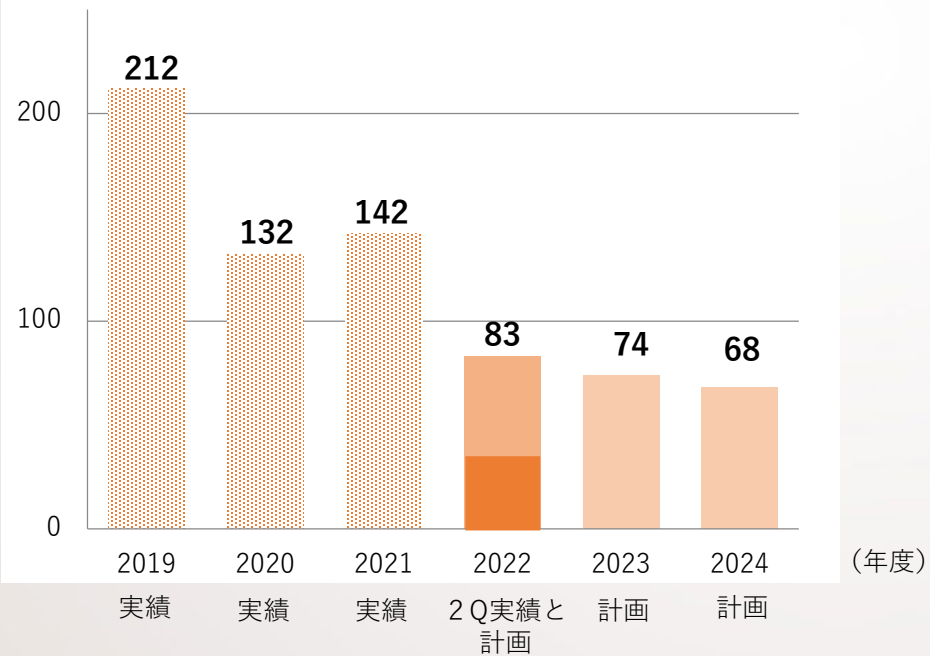
* 2021年度より、海外へのアニメ販売分はそれまでの「海外」から「アニメ」に計上を変更しています。

設備投資と減価償却

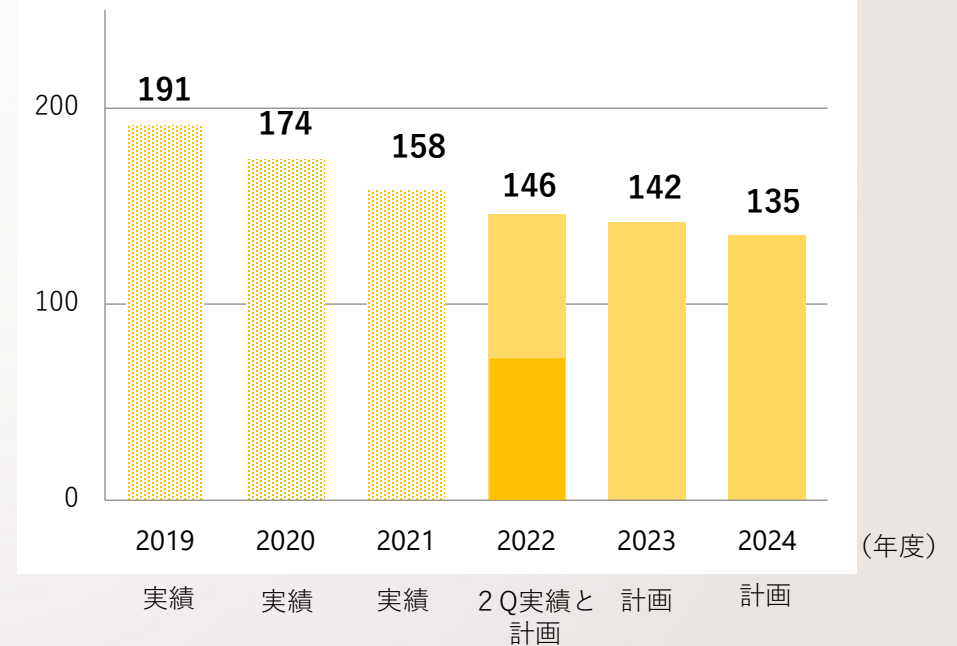
■ 第2四半期に大きな設備投資はなし

() は前年比	設備投資額	減価償却費
2022年度上期 (4-9月)	36億円 (△29.0%)	67億円 (△14.3%)

年間設備投資額



年間減価償却費



連結業績及び配当予想

■ 業績予想を見直しました

(単位：百万円)	5月時開示予想	今回開示予想	増減	増減率
売上高	435,000	415,000	△20,000	△4.6
営業利益	50,000	43,000	△7,000	△14.0
経常利益	55,000	48,000	△7,000	△12.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	40,000	33,000	△7,000	△17.5

配当予想

(単位：円)	第2 四半期末	期末	合計
2021年度	10	27	37
2022年度	10	27	37

2022年度 日本テレビ地上波広告収入の見込み（前期比）

(単位：％)	5月時予想	今回予想
タイム	△6.7	△7.8
スポット	±0.0	△2.6

コンテンツ戦略



22年10月期改編・戦略について

視聴エンゲージメントの強化！

～OFF からON へ、ON からFAN へ、FAN からBUZZ へ～

「安心」「楽しめる」「好き」「裏切らない」・・・＝「いいね！」を
たくさんいただいて、コンテンツの視聴エンゲージメントを強化

10月期戦略～個人・コアターゲット「三冠継続」に向け～

- ・「カズレーザと学ぶ。」によるリアルタイム積極視聴の誘引
- ・GP帯3ドラマの作品と話題化施策の強化
- ・帯番組ならびにGPレギュラー番組の強化と再ブランディング
- ・新規特番開発の更なる強化
- ・「カラダWEEK」の盛り上げ、「ベストアーティスト」「THE W」
「年末年始大型特番」「箱根駅伝」「高校サッカー」などの成功



コンテンツ戦略本部

新組織「コンテンツ戦略本部」～“コンテンツオリエンテッド”の再強化～

「地上波タイムテーブルの価値最大化」と「コンテンツが生み出す価値の最大化」の両立に向け、22年4月期ドラマ「金田一少年の事件簿」をディズニープラスでグローバル配信し話題に。



さらに複数のグローバルプラットフォームとプロジェクト進行中。

2022年（1～10月）個人全体視聴率

2022/01/03(月)～2022/10/30(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全日	① 3.7	② 3.6	③ 2.8	⑤ 1.3	④ 2.6	20.3
6時～24時	▲0.4	▲0.3	▲0.3	▲0.2	▲0.4	▲2.0
プライム	① 5.6	② 5.4	③ 4.2	⑤ 2.9	④ 4.0	31.2
19時～23時	▲0.4	▲0.5	▲0.5	▲0.4	▲0.5	▲3.2
ゴールデン	① 6.0	② 5.3	③ 4.2	⑤ 3.3	④ 4.0	33.3
19時～22時	▲0.3	▲0.5	▲0.5	▲0.4	▲0.6	▲3.3
ノンプライム	① 3.2	② 3.1	③ 2.4	⑤ 0.8	④ 2.2	17.1
全日－プライム	▲0.3	▲0.2	▲0.3	▲0.1	▲0.3	▲1.7
プラチナ	① 2.8	② 2.0	③ 1.9	⑤ 0.8	④ 1.7	12.1
23時～25時	▲0.3	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲0.2	▲1.3

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年との差・比較期間2021/1/4(月)～2021/10/31(日)

個人視聴率は43週中27週で「3冠」を獲得
日本テレビは12年連続「個人3冠」へ向け推移中

2022年（1～10月）コアターゲット視聴率

2022/1/3(月)～2022/10/30(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全日	① 3.0	④ 1.4	③ 1.7	⑤ 0.5	② 1.9	10.6
6時～24時	▲0.5	▲0.3	▲0.1	▲0.2	▲0.4	▲1.6
プライム	① 4.9	④ 2.8	③ 3.1	⑤ 1.4	② 3.2	18.5
19時～23時	▲0.6	▲0.4	▲0.5	▲0.3	▲0.8	▲3.1
ゴールデン	① 5.1	④ 2.7	③ 3.1	⑤ 1.5	② 3.2	19.2
19時～22時	▲0.6	▲0.4	▲0.5	▲0.3	▲0.9	▲3.1
ノンプライム	① 2.4	④ 1.1	③ 1.2	⑤ 0.3	② 1.5	8.3
全日－プライム	▲0.5	▲0.2	▲0.1	▲0.1	▲0.3	▲1.2
プラチナ	① 2.4	② 1.7	④ 1.3	⑤ 0.6	③ 1.5	8.9
23時～25時	▲0.5	▲0.3	▲0.2	▲0.1	▲0.3	▲1.6

左からデジタルチャンネル順／コアターゲット視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2021/1/4(月)～2021/10/31(日)

- コアターゲットは「男女13-49歳」を指す日本テレビオリジナル指標
「クライアントニーズ」が高い、就業就学者にどれだけ支持されているかを示す
- 日本テレビは10年連続「コア3冠」へ向け推移中

2022年度 注目のコンテンツ戦略

●グローバル展開トピックス

- 『¥マネーの虎』の英BBC版『Dragons' Den』はシリーズ20を制作中、米ABC版『Shark Tank』は9月にシーズン14を開始し初の生放送に挑戦



これまでに45か国版が制作された。
さらに新たな国での制作も予定されて
おり、引き続き世界中で大注目の
フォーマット。

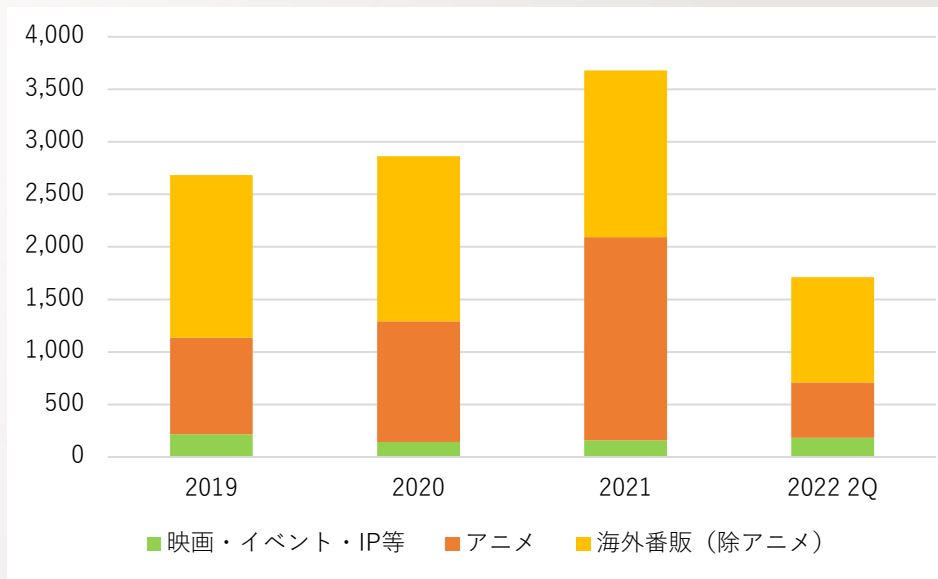
- My Neighbour Totoro 舞台「となりのトトロ」ロンドン公演



10月8日にイギリス・ロンドンのバービカン劇場で開幕した舞台。
ガーディアン紙など多くの劇評で五つ星を
獲得するなど、ロンドンで今、もっとも注
目されている作品。
2023年1月21日まで上演予定。

コンテンツ海外セールス状況

(百万円)



* 2019年から同一基準で作成（内部管理数字）

2022年度 注目のコンテンツ戦略



●映画事業

・2023年3月31日(金)公開 「映画 ネメシス 黄金螺旋の謎」

広瀬すず&櫻井翔W主演、江口洋介共演の大人気ドラマが待望の映画化！

2021年4月期日曜ドラマ「ネメシス」は、新時代の探偵物語として、幅広い年代に大好評を博し、総合視聴者数が1,700万人を突破！ドラマでは描くことができなかったスケール感で映画化が決定！今年9月に映画化の情報解禁を行うや、出演者・映画タイトルがTwitterトレンドに軒並みランクイン！ドラマの最終回から1年以上経つとも人気の高さは健在！



●アニメ事業

・2022年「転生したらスライムだった件」が、日本テレビのアニメに仲間入り

シリーズ累計発行部数 3000万部突破！全世界に熱狂的なファンを抱え、異世界ファンタジーの代名詞とも言える「転生したらスライムだった件」が日本テレビのアニメに仲間入り！22年4月期からの放送は、7月期に入っても常に並びトップの視聴率をマーク、11月公開の劇場版に期待が膨らみます。

2022年度 注目のコンテンツ戦略



●IPビジネス

- ・「音楽界のカリスマYOSHIKI×世界基準のスペシャリスト」がワールドスターを発掘！YOSHIKI SUPERSTAR PROJECT X

グローバルに活躍する音楽界のカリスマ・YOSHIKIがプロデューサーとなり、世界に勝負を挑むネクストスーパースターを発掘するボーイズグループオーディション。

「スッキリ」「行列の出来る相談所」Hulu配信でも話題沸騰。このオーディションでは「バンド」と「ボーイズグループ」の2つのグループが誕生！

- ・世界で活躍するボーイズグループNCT、初の冠番組がスタート！

世界で活躍する次世代グローバルグループNCTの魅力を深掘りし、全力で紹介する番組「What's NCT!？」がスタート！メンバーであるソンチャンとショウタロウが、おいでやすこが&各話ゲストと共にシットコムに挑戦！NCTを応援する「汐留支部」を舞台にコントで情報&魅力をお伝えし、地上波およびHulu配信で話題沸騰中。



HJホールディングス



(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2022年度上期 (4 - 9月)	16,938	360	328	326



今後準備中の超大型オリジナル作品



■Huluストア事業の売上が絶好調！

■特に、舞台「千と千尋の神隠し」独占配信は記録的券売数に

- *他にも「歌舞伎版ナウシカ」「BUMP OF CHICKEN」「BMSG FES」「すとぷり」「乃木坂46」「欅坂46」「=LOVE」「THE ICE 2022」等、豪華ラインナップを配信
- *パラマウント作品・ワーナー作品もTVOD配信スタート、ラインナップがさらに充実

■「&AUDITION - The Howling -」独占配信、圧倒的会員獲得に貢献

- *下期も「YOSHIKI SUPERSTAR PROJECT X」等、話題のオーディション番組を配信

■Huluオリジナル大型コンテンツが会員獲得に貢献

- *ディーンフジオカ主演「パンドラの果実Season2」、田中圭主演「死神さん2」等

■22年度下期～来年度に向けて、超大型オリジナル作品を多数準備中！

①木村拓哉出演 海洋SFサスペンス「THE SWARM」

- *ヨーロッパ各国の主要放送局とHulu Japanが共同製作
- *「ゲーム・オブ・スローンズ」のフランク・ドルジャーが手掛ける規格外の超大作

②山下智久主演「神の雫/Drops of God」

- *フランス・イタリア・日本などで約10カ月撮影した大型作品

③福士蒼汰出演「THE HEAD SEASON2」

- *世界90の国と地域で放送・配信、大成功を収めたサバイバル・スリラーの第2弾

④中島健人出演「CONCORDIA」

- *フランク・ドルジャーの最新作、AIを活用した監視社会を描く大型国際ドラマ

配信事業：TVer（AVOD）

TVer 状況

- レギュラー配信番組数 500番組以上
- 再生数：6.31億 UB数：3,000万 （2Q 全局全コンテンツ総計）
- アプリダウンロード数累計：5,000万超
- 選挙特番、安倍元首相銃撃事件などライブ配信

日本テレビの取組

■ドラマ・バラエティ・アーカイブのTVerオリジナル企画



ZIP!朝ドラマ 「泳げ!ニシキゴイ」

7月より、ZIP!朝ドラマがスタート
通勤時間にも楽しめるように、
毎朝、地上波放送に先駆け、
TVerで先行配信



「ばかやろうのキス」 & 「やり直したいファーストキス」

Z世代を狙った
地上波放送ドラマ「ばかやろうのキス」
連動したオリジナル「やり直したい〜」を配信



バラエティ再生好調! & TVerオリジナルに初挑戦

月曜から夜ふかし、有吉の壁など
と並び、4月スタートの新番組の
配信が好調。
「上田と女が吠える夜」では
毎話、TVerオリジナルを展開



「ハコヰメ 〜たたかう!交番女子〜」

同作の放送文化基金賞受賞を記念し、
期間限定でTVer再配信し、総再生数300万超え。

新規事業・M&A



2021年10月～2022年9月 主なM&A・出資一覧

	出資先	事業内容	株式取得時期	出資額
1	サウンドファン	サステナブル投資① 高齢者向け指向性スピーカー	2021年10月	非開示
2	EASY PRODUCTION	スポーツコンテンツ制作	2021年10月	非開示
3	ビーグリー	電子コミックサイト運営	2021年12月 (持分法適用関連会社化)	29億円
4	ムラヤマ	特殊造作	2022年3月 (完全子会社化)	187億円
5	絵本ナビ	サステナブル投資② 絵本サイト運営	2022年4月	非開示
6	アチーブメント	人材研修	2022年7月 (持分法適用関連会社化)	非開示
7	アールビーズ	スポーツイベント・メディア	2022年8月 (持分法適用関連会社化)	非開示

- 2022年3月 ウォルト・ディズニー・ジャパンとの「戦略的協業」発表
- 2022年4月 VTuber事業分社化、ClaN Entertainment 設立
- 2022年7月 クラウド使用の番組制作ワークフロー刷新システム「Alligator（アリゲーター）」の運用を開始
- 2022年9月 アナウンサーの声から生まれたブランド「Audire（オーディーレ）」をローンチ

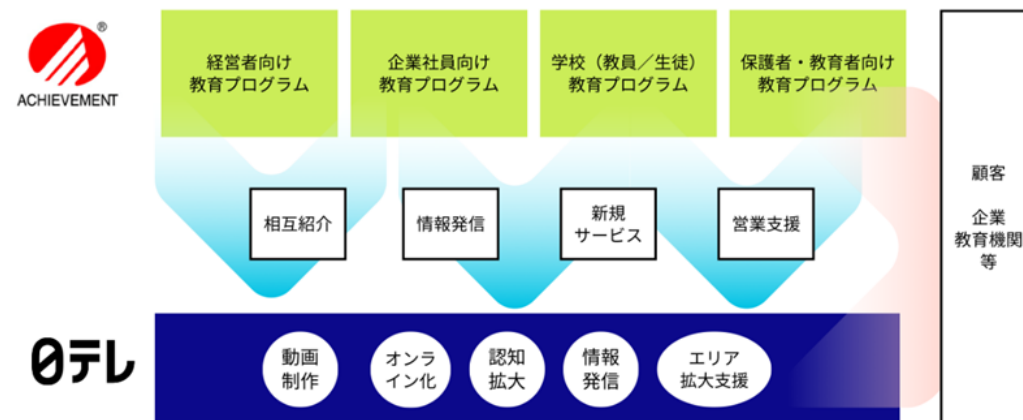
アチーブメント



- 1987年創業 人材育成コンサルティング企業
- 2022年7月 株式譲渡により、日本テレビグループの持分法適用会社
- 研修プログラムの受講実績は40万人超

【日テレHR（人材研修の新規事業）とのシナジー】

- ①対面が主流のアチーブメント社のメソッドを活かした動画・オンライン講座の開発
- ②アチーブメント社の30年にわたる人材育成の知見と圧倒的営業力で、日テレHR事業を加速
- ③新たなオンライン・対面講座の共同開発



アールビーズ



「スポーツの実践を通じて、健康で心豊かな人生を送る人々を応援する」を企業理念に掲げ、1975年の創業以来、ランニングを中心にスポーツのすばらしさを世の中に広め、社会に貢献することを活動理念として事業を展開。日本テレビは35%の株式を取得し、持分法適用関連会社化。

- ランナー向けポータルサイト「RUNNET」
日本最大級のランナーのためのポータルサイトです

- アールビーズの優位性

国内ランニング大会業界で圧倒的地位（国内大会エントリーシェア 65%、1万人以上参加大会シェア 95%、参加者ベースシェア 80%）を誇り、登録者は350万人超と幅広いネットワークを持つ。スポーツ愛好家が利用するアプリも多々展開。2021年10月に行われた「ラン&ウォーク」イベントには360自治体が参加するなど、地方自治体とのつながりも強く、競技計測の分野でもトップクラス



Audire(オーディーレ)

Audire <https://audire.jp>

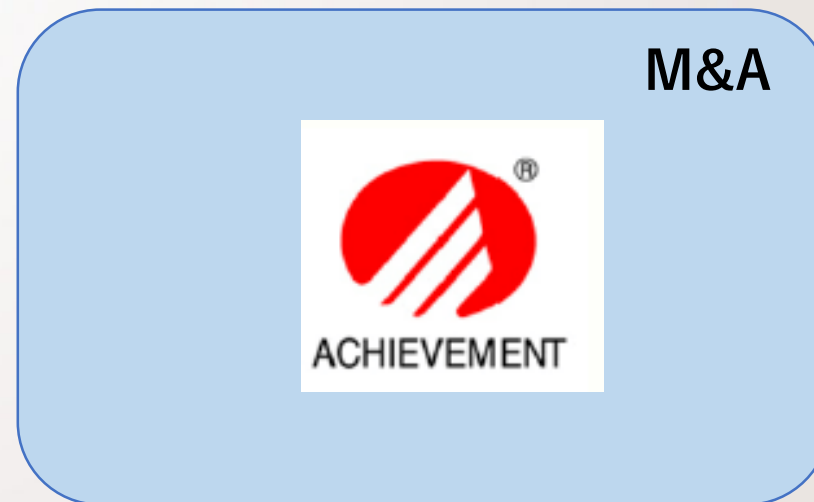
アナウンサーが主体となって立上げたアパレル事業「Audire（オーディーレ）」がローンチ
コンセプトは「Wear the Voice.（心地良いわたしを纏う）」

「女性たちが心地よく働き活躍できる社会の実現」に寄与することを目的とし、
心の声に向き合った自分らしいこだわりを表現できる洋服を提供します。



中期計画の積極的な促進：新規事業

社内インキュベーション



補足資料



セグメント別 実績

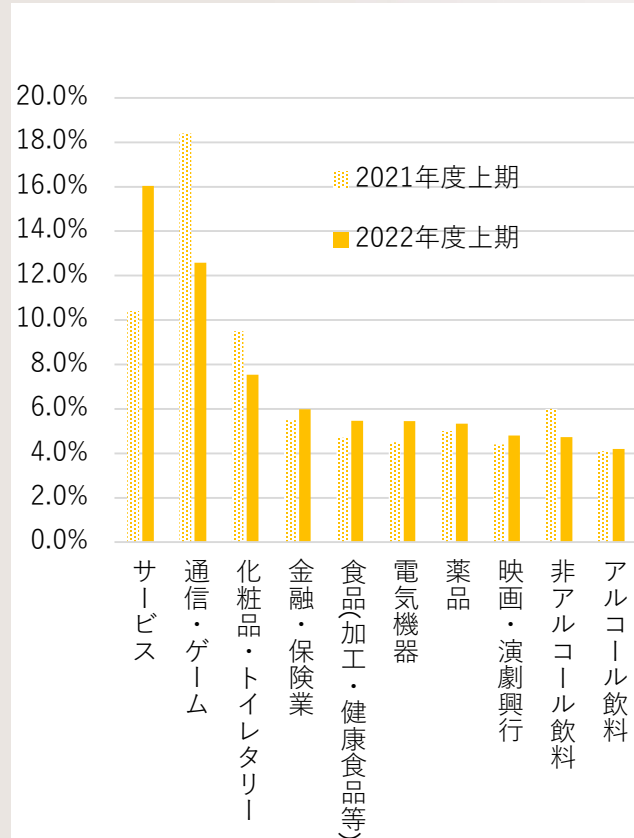
(単位：百万円)

	売上			営業利益		
	2021年度上期 (4 - 9 月)	2022年度上期 (4 - 9 月)	増減	2021年度上期 (4 - 9 月)	2022年度上期 (4 - 9 月)	増減
メディア・コンテンツ事業	181,038	184,682	2,126	24,393	18,221	△6,425
生活・健康関連事業	10,725	13,032	2,306	△1,769	△182	1,587
不動産関連事業	5,158	5,323	165	1,954	1,873	△81
連結	196,922	203,037	4,597	24,578	19,912	△4,919

* 2022年度よりセグメントの一部変更があり、新セグメントに合わせて2021年度を修正しています。

2021年度までの報告セグメント外の「その他」が、2022年度より「メディア・コンテンツ事業」に含まれます。

上期（4月 - 9月）スポット業種別売上シェア - 地上波（日本テレビ放送網） -



	2021年度上期 (4 - 9月)	シェア (%)	増減率 (%)	2022年度上期 (4 - 9月)	シェア (%)	増減率 (%)
1	通信・ゲーム	18.4	49.6	サービス	16.0	48.7
2	サービス	10.4	75.5	通信・ゲーム	12.6	△ 33.8
3	化粧品・ トイレタリー	9.5	17.5	化粧品・トイレタリー	7.5	△ 22.7
4	非アルコール飲料	6.0	65.9	金融・保険業	6.0	4.8
5	金融・保険業	5.5	71.2	食品(加工・健康食品等)	5.5	11.8
6	薬品	5.0	5.4	電気機器	5.5	18.5
7	食品 (加工・健康食品等)	4.7	20.9	薬品	5.3	4.1
8	電気機器	4.5	56.8	映画・演劇興行	4.8	6.2
9	映画・演劇興行	4.4	141.4	非アルコール飲料	4.7	△ 24.0
10	アルコール飲料	4.1	113.9	アルコール飲料	4.2	0.2

注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

2022年 映画事業の主なラインナップ①

☆ = 日テレ主幹事 ★ = 日テレ共同幹事 ○ = 日テレ出資作品

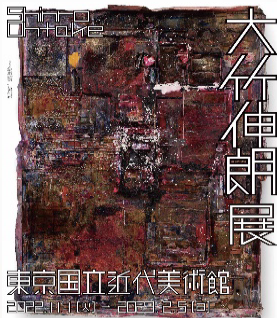
公開	作品名	配給	備考	
11/25 (金)	○劇場版 転生したらスライムだった件 紅蓮の絆編	バンダイ ナムコ フィルム ワークス	大人気アニメ初の劇場版！ さえないサラリーマンが事件に巻き込まれ、 スライムに転生、ユニークなスキルを活か して成長、仲間と共に国造りに励む異世界 転生ファンタジー！ ストーリー原案：伏瀬 出演：岡咲美保 内田雄馬 福本莉子 古川慎 木村昴ほか	
12/23 (金)	★かがみの孤城	松竹	本屋大賞を歴代最高得点で受賞した辻村深 月最高傑作！！部屋の鏡をくぐり抜けた先 にあったのは、おとぎ話のようなお城と見 ず知らずの中学生6人が集められていた―― 監督：原恵一 出演：當真あみ 北村匠海 宮崎あおい ほか	

2022年 映画事業の主なラインナップ②

☆ = 日テレ主幹事 ★ = 日テレ共同幹事 ○ = 日テレ出資作品

公開	作品名	配給	備考	
1/27 (金)	☆金の国 水の国	ワーナー ブラザース 映画	「このマンガがすごい（オンナ編）」大賞を史上初めて2年連続受賞の岩本ナオ原作を、世界が注目のマッドハウス制作で初の映画化！長年大きな壁で隔たれ、戦争目前の二つの国。その危機を救う青年と姫のCVを賀来賢人と浜辺美波が熱演。「やさしさ」で溢れる2023年初泣きエンターテインメント。	
3/31 (金)	☆映画 ネメシス 黄金螺旋の謎	ワーナー ブラザース 映画	広瀬すず&櫻井翔W主演、江口洋介共演の大人気ドラマが待望の映画化！ 2021年4月期日曜ドラマ「ネメシス」は、新時代の探偵物語として、幅広い年代に大好評を博し、総合視聴者数が1,700万人を突破！ドラマでは描くことができなかったスケール感で映画化が決定！今年9月に映画化の情報解禁を行うや、出演者・映画タイトルがTwitterトレンドに軒並みランクイン！ドラマの最終回から1年以上経つとも人気の高さは健在！	

2022年イベント事業の主なラインナップ

期間	イベント名	内容
10月8日(土) ～2023年1月21日(土) ロンドン・バービカン劇場	My Neighbour Totoro 舞台「となりのトトロ」 	ついに開幕。“ウェストエンドで最もチケットが売れている公演”(THE TIMES)と大評判。 宮崎駿監督のアニメーション映画「となりのトトロ」が、イギリスの名門演劇カンパニー、ロイヤル・シェイクスピアのバービカン劇場でついに開幕。久石譲の音楽、原作を尊重した世界観、そしてRSCならではの作劇力で観客の心をつかみ、連日万雷の拍手とスタンディングオベーションで迎えられています。
11月1日(火)～ 2023年2月5日(日) 東京国立近代美術館	大竹伸朗展 	現代日本を代表するアーティスト、大竹伸朗の創作活動を約500点で体感する大回顧展。 大竹伸朗(1955-)は、猛々しい創作意欲でおびただしい数の仕事を手掛け、現代日本を代表するアーティストとして注目を集め続けています。本展ではおよそ500点を展示。作者が「既にあるもの」と呼ぶテーマのもとに半世紀近く持続してきた制作の軌跡を辿ります。
2023年3月1日(水)～ 6月12日(月) 国立新美術館(六本木)	ルーヴル美術館展 愛を描く 	ルーヴルには愛がある。 ルーヴルが誇る珠玉の“愛”の絵画が一堂に！ 長きにわたり協力関係を築いてきた日本テレビとルーヴル美術館。今回は「愛」をテーマに、70点余りの絵画を展示します。2018-2019年にかけて東京・大阪で約70万人を動員した「ルーヴル美術館展 肖像芸術一人は人をどう描いてきたか」に続く本展にご期待ください。

ほかにも沢山の音楽ライブ、舞台、展覧会を準備NEWS」まで
<https://www.ntv.co.jp/event/>